

令和元年度 決算状況		人 口 増 減 率	平成27年国調 3,422 人 口 密 度	人 口 増 減 率	平成22年国調 3,681 人 口 密 度	区分	住民基本台帳人口	うち日本人	産業構造	都道府県名	団体名	市町村類型	I-0			
		面積	121.19 km ²	平31.1 人	3,514 人	人 口 増 減 率	3,508 人	人 口 増 減 率	3,436 人	人 口 増 減 率	43	5121	熊本県	山江村	地方交付税種地	2-2
歳入の状況 (単位:千円・%)																
区分	決算額	構成比	経常一般財源等	構成比	区分	収入額	構成比	超過課税分	区分	合元年度(千円)	平成30年度(千円)					
地方税	226,199	6.2	226,199	12.5	第1次	337	362		歳入総額	3,646,037	3,883,975					
地方譲与税	42,927	1.2	42,927	2.4	第2次	19.7	20.2		歳出総額	3,319,176	3,669,502					
利子割交付金	119	0.0	119	0.0	第3次	418	446		歳差引支額	326,861	214,473					
配当割交付金	497	0.0	497	0.0		24.4	24.9		翌年度に繰越すべき財源	5,018	10,592					
株式等譲渡所得割交付金	334	0.0	334	0.0		958	980		支那工特新質取支	321,843	203,881					
分離課税所得割交付金	-	-	-	-		55.9	54.8		支那開発費立上償還額	117,962	15,128					
地方消費税交付金	51,588	1.4	51,588	2.8					支那賃金	68,616	77,326					
ゴルフ場利用税交付金	-	-	-	-					支那償還額	160,000	160,000					
特別地方消費税交付金	-	-	-	-					支那償還額	26,578	-67,546					
自動車取得税交付金	4,462	0.1	4,462	0.2												
軽油引取税交付金	-	-	-	-												
自動車税環境性能割交付金	1,113	0.0	1,113	0.1												
地方特例交付金等	5,036	0.1	5,036	0.3												
個人住民税減免課税特例交付金	1,090	0.0	1,090	0.1												
自動車税減免課税特例交付金	585	0.0	585	0.0												
軽自動車税減免課税特例交付金	73	0.0	73	0.0												
子ども・子育て支援臨時交付金	3,288	0.1	3,288	0.2												
地方交付税	1,592,178	43.7	1,480,638	81.6												
内務省支給税	1,480,638	40.6	1,480,638	81.6												
特別地方税	111,540	3.1	-	-												
被災復興特別交付税	-	-	-	-												
(一般財源計)	1,924,453	52.8	1,812,913	100.0												
交通安全対策特別交付金	499	0.0	499	0.0												
分担金・負担金	7,952	0.2	-	-												
使用料	71,113	2.0	-	-												
手数料	2,583	0.1	-	-												
国庫支出金	471,759	12.9	-	-												
国庫提供交付金	-	-	-	-												
(特別区財調交付金)	206,177	5.7	-	-												
都道府県支出金	45,182	1.2	-	-												
財産附金	13,525	0.4	-	-												
繰入金	234,032	6.4	-	-												
越金	214,473	5.9	-	-												
諸収入	39,889	1.1	7	0.0												
地方債	414,400	11.4	-	-												
うち減免補填債(特例分)	-	-	-	-												
うち臨時財政対策債	49,200	1.3	-	-												
歳入合計	3,646,037	100.0	1,813,419	100.0												
性質別歳出の状況 (単位:千円・%)																
区分	決算額	構成比	充当一般財源等	経常収支比率	区分	決算額	構成比	(A)のうち	区分	合元年度(千円)	平成30年度(千円)					
人件費	488,670	14.7	455,647	23.6	第1次	56,746	1.7	(A)のうち	基準財政収入額	269,121	259,277					
うち職員給	279,970	8.4	253,823	-	業務費	696,866	21.0	基準財政収入額	標準財政需額	1,752,459	1,726,450					
扶助費	472,175	14.2	140,536	7.5	人材費	759,835	22.9	標準財政需額	標準財政規模	326,588	317,355					
公債費	367,809	11.1	339,181	18.2	衛生費	249,870	7.5	標準財政需額	標準財政規模	1,856,496	1,852,984					
内元利償還金	348,705	10.5	322,561	17.3	労働費	-	-	実質取支比率	実質取支比率	17.3	11.0					
利子	19,104	0.6	16,620	0.9	農林水産業費	276,352	8.3	公債負担比率	公債負担比率	13.9	14.2					
訳一時借入金利子	-	-	-	-	商工費	55,575	1.7	実質赤字比率	実質赤字比率	-	-					
(義務的経費計)	1,328,654	40.0	935,364	49.3	土木費	369,776	11.1	連結果実質赤字比率	連結果実質赤字比率	-	-					
物件費	585,486	17.6	409,076	204,571	消防費	130,507	3.9	実質公債費比率	実質公債費比率	10.7	9.7					
維持補修費	15,726	0.5	7,977	1,495	教育費	81,467	2.5	税率化	税率化	-	-					
補助費等	362,400	10.9	293,254	202,812	衛生費	324,424	9.3	現立金	現立金	815,918	907,302					
うち一部事務組合負担金	139,182	4.2	139,182	131,642	灾害復旧費	327,437	8.3	高特定目的	高特定期	268,273	303,220					
繰り出し金	388,052	11.7	357,261	253,071	公債償還費	367,809	11.1	地方法債	地方法債	977,870	973,489					
積立て金	106,150	3.2	73,512	-	貿易費	-	-	債務負担行為額	債務負担行為額	3,436,764	3,371,069					
投資・出資金	5,000	0.2	-	-	会計費	-	-	支払額	支払額	-	-					
前年度繰り充用金	-	-	-	-	税金	-	-	保証金	保証金	-	-					
投資的経費	527,708	15.9	28,239	1,680,730千円	事業費	388,052	11.1	償還額	償還額	-	-					
うち人件費	-	-	-	-	会員費	108,000	1.7	取扱額	取扱額	-	-					
(経常経費充当一般財源等計)	3,319,176	100.0	2,104,683	100.0	旅費	95,000	1.7	事業費	事業費	-	-					
内普通建設事業費	446,241	13.4	19,228	90.2%	会員費	42,579	1.7	取扱額	取扱額	-	-					
うちち補助金	317,637	9.6	5,153	(92.7%)	旅費	480	1.7	事業費	事業費	-	-					
うち単独	122,732	3.7	8,203	(減収補填債(特例分))	会員費	776	1.7	取扱額	取扱額	-	-					
訳災害復旧事業費	81,467	2.5	9,011	及び臨時財政対策債(特例分)	旅費	92	1.7	年計	年計	99.5	95.8					
うち業務費	-	-	-	等	会員費	141,180	1.7	取扱額	取扱額	99.4	95.5					
歳出合計	3,319,176	100.0	2,104,683	100.0	会員費	395	1.7	年計	年計	99.3	93.4					

(注) 1. 普通建設事業費のうちの補助事業費を含む。単独事業費は同級他団体施行事業負担金及び受託事業費のうちの単独事業費を含む。

2. 東京都特別区における基準財政收入額及び基準財政需額は、特別区財政調整交付金の算出にした値であり、財政力指数は、前記の基準財政需額及び基準財政收入額により算出。

3. 産業構造の比率は分母を就業人口総数とし、分類不能の産業を除いて算出。

4. 人口については、調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳による人口に基づいている。

5. 面積については、調査対象年度の1月1日現在の市町村、都道府県、全国の状況をとりまとめた「全国都道府県市町村別面積調」(国土地理院)による。

6. 個人情報保護の観点から、対象となる職員数が1人又は2人の場合、「給料月額(百円)」及び「一人当たり平均給料月額(百円)」を「アスタリスク(*)」としている。(その他、数値のない欄については、すべてハイフン(-)としている。)